



平成27年度秋季全国大会フォーラム講演論文募集

主 題：溶接部の腐食現象を考える

座 長：廣瀬明夫（大阪大学）、小川和博（新日鐵住金）
井上裕滋（新日鐵住金）

日 時：平成27年9月3日（木） 13:00～17:00（詳細未定）

会 場：北海道科学大学
(札幌市手稲区前田7条15丁目4-1)

趣 旨：

近年の地球環境保全や資源・エネルギー問題から各種装置および構造物の一層の高機能化、高効率化が求められ、また、材料に対する要求特性の多様化、使用環境の苛酷化はますます厳しくなっている。しかしながら、金属材料は、種々の環境下において何らかの形で腐食を受け、腐食による事故が発生した場合、社会的にも経済的にも重大な損害を与えることになる。また、このような腐食による損失額は、GNPの2%にも達するとの報告もある。したがって、これら腐食損傷に対しては、個別に原因を解明し、防止策を考える必要がある。ところで、このような腐食の発生には、構造設計や加工方法の不適、局部的な環境の不適合、材料選定の不適など多種多様な原因がある。特に、過去の腐食事例において、溶接部が腐食の起点や伝播部分になってきたことは明らかであり、溶接部の耐食性確保が構造物全体の使用性能の点から極めて重要な要素となる。

このような背景から、溶接冶金研究委員会では、（公益社団法人）腐食防食学会 プラント構成材料溶接部腐食分科会と合同で平成23

年よりプラント材溶接部腐食合同委員会（PWCC委員会）を設置し、溶接部で発生する腐食についての理解を深めることを目的に、腐食機構の究明および腐食事例の解析、対策提案等の活動を行っている。

そこで本フォーラムでは、溶接部の腐食に関して材料側および環境側から互いに話題を紹介し、なぜ、溶接部に腐食損傷が起こりやすいか、さらに、実際に発生した腐食事例を対象として、その要因解析とどのような対策が有効かを議論するとともに、今後に向けての課題などを広範な見地から意見交換を行う。

申込方法：

著者名、タイトル、概要（200字程度）、所属、連絡先を明記した上、メール(jws-ym@kt.rim.or.jp)またはファックス(03-5825-4331)にて、溶接学会事務局へお申し込み下さい。

申込締切日：平成27年3月20日（金）

講演採否：お申込いただいた講演の採否は直接申込者にお知らせ致します。

原稿締切日：平成27年7月1日（水）

（採択された講演者には、所定の書式に従って作成した原稿を、締切迄に提出していただきます。提出いただいた原稿は、溶接学会全国大会講演概要集（WEB版）に掲載致します。なお、講演時間は、1件約20分～30分程度を予定しています。原稿作成方法などの詳細は座長より連絡致します。）